

令和5年度活動報告書

会 員 名	舞鶴市		
活 動 名	旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」賑わい創出事業		
主 催 者	みなとオアシス京都舞鶴うみとびら運営協議会(事務局:舞鶴市)		
報 告 者	所属	みなと振興・国際交流課	TEL
	氏名		E-mai
協議会以外の 共催・後援等	令和5年10月21日(土)		
実 施 時 期	200名		
実 施 規 模	250千円		
実施事業費	活 動 全 般		
実 施 概 要	<p>【事業概要】</p> <p>京都舞鶴港では、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、昨年10月15日、みなとオアシス制度へ登録されたところ。今年は京都舞鶴ベイサイドフェスタを初開催する予定であり、そのイベントの一環として、みなとオアシスの代表施設であり、イベントの開催会場でもある「京都舞鶴港うみとびら」において、「世界のクルーズ船写真展」などを開催し、来場者のにぎわいを創出しようとするもの。</p> <p>【事業内容】</p> <p>京都舞鶴ベイサイドフェスタ来場者を対象とした賑わいのコンテンツとして以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のクルーズ船写真展 ・舞鶴工業高等専門学校の生徒による「大野辺緑地(構成施設)」の活用方法の研究成果発表 ・うみとびら前でのインディーズバンドライブ ・ベイサイドフェスタ会場内や商店街などを繋げるスタンプラリー 		
実施にあたり苦労した点 (今後他の会員が実施する上で注意する点)	<p>・当日の断続的な雨、旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」の認知度</p> <p>多くの市民の方に旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」に来場いただきたかったが、当日の断続的な雨の影響と、うみとびらの市民への認知度が低かったことから、イベント全体の参加者に対して、来場者が少なかった。</p>		
参加者の反響 (参加者の声)	<p>主にクルーズ受入で使用する事が多い旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」は、まだまだ一般の市民に馴染みが薄いのが、展示以外にも興味を示していた。このような機会に来場いただくことで、普段の当該施設の役割などの説明にも熱心に耳を傾けていただくなど、クルーズ受入をはじめとした港の働きにも親近感を持ってもらえた。</p>		
活動に対するPR内容	<p>チラシの作成配布、市HPへの掲載、市及び近隣市のSNSでの情報発信、FM放送によるイベント告知を実施。</p>		
マスコミ等の反響	(イベント全体として)舞鶴商工会議所会報に関連記事掲載		
実施状況写真	別紙報告書のとおり		

日本海にぎわい交流海道ネットワーク活動支援報告

令和5年度 旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」賑わい創出事業

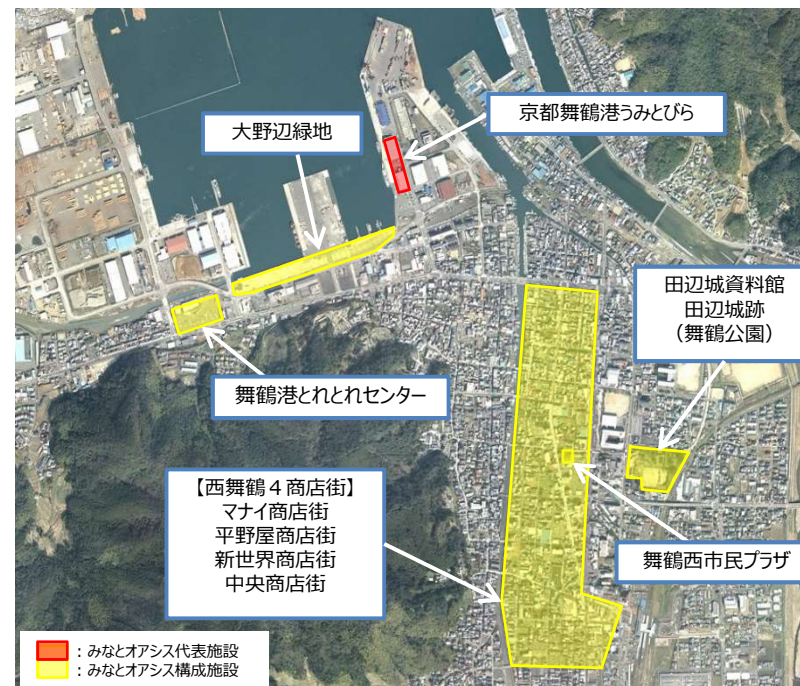
京都府舞鶴市

令和5年10月21日

京都舞鶴港の「みなとオアシス登録」について

登録名称：「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」

【みなとオアシス京都舞鶴うみとびらの基本情報】	
設置者	舞鶴市
運営者	みなとオアシス京都舞鶴うみとびら運営協議会
所在港湾	舞鶴港【重要港湾】
構成施設	京都舞鶴港うみとびら（代表施設） 大野辺緑地、田辺城跡（舞鶴公園）、田辺城資料館、西舞鶴4商店街、舞鶴港とれとれセンター、舞鶴市西市民プラザ
港湾管理者	京都府
登録日	令和4年10月15日



近畿地方整備局舞鶴港湾事務所提供

【代表施設】

京都舞鶴港うみとびら



【主なイベン】



みなとオアシスイベントについて

～京都舞鶴ベイサイドフェスタ～

【日時】令和5年10月21日（土）

10:00～16:00

【会場】舞鶴西港第2ふ頭

（うみとびら～大野辺緑地）

【イベント概要】

- ・みなとオアシス展示ブース
 - ・府内登録港PRブース
 - ・西港遊覧船
 - ・キッチンカー
 - ・ミニSL体験
 - ・海舞鶴線紹介
 - ・物販ブース
（観光協会、新日本海フェリー、郵便局、うみとうみへ）
 - ・音楽ステージ
- <うみとびら内>
- ・舞鶴高専研究成果発表
 - ・スタンプラリーゴール
 - ・世界のクルーズ船写真展



◆来場者数

⇒ 約2,000人



ベイサイドフェスタ全体の様子



バイサイドフェスタ全体の様子



旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」について

2021年4月から新たに供用開始



① 世界のクルーズ船写真展

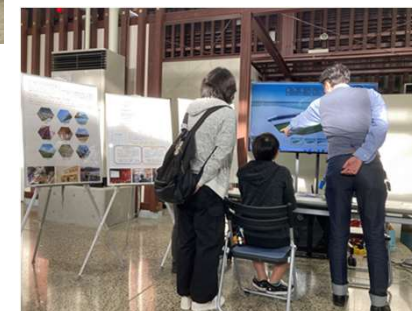
- ・クルーズ写真家・篠本秀人氏の写真紹介



大判写真は迫力満点

② 舞鶴高専研究成果発表

- ・舞鶴工業高等専門学校生徒による「大野辺緑地（構成施設）」活用方法の研究成果発表



3D映像で未来の大野辺緑地を散策

③ 音楽ステージ

- ・うみとびら前で、インディーズバンドによる音楽ステージを開催



歌だけでなく、ダンスパフォーマンスも

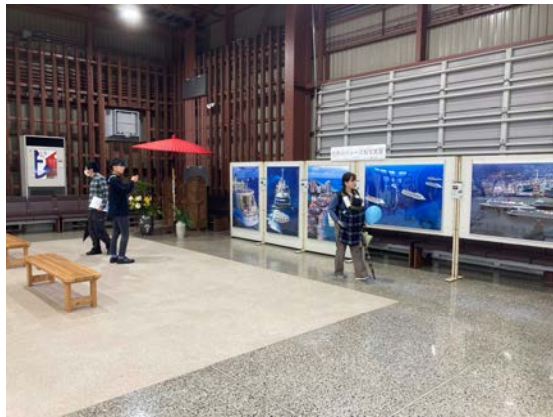
④ スタンプラリー

- ・イベント本部、ミニSL、商店街、うみとびらを回遊するスタンプラリー



みなとだけでなくまちなかも回遊

旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」賑わい創出事業【当日の様子】



◆来場者数：200名

◆多くの市民の方に旅客ターミナル「京都舞鶴港うみとびら」に来場いただきましたが、当日の断続的な雨の影響と、うみとびらの市民への認知度が低かったことから、イベント全体の参加者に対して、来場者が少なかったと思われる。

◆他方、スタンプラリーに参加いただいた方の6割以上が商店街のポイントを立ち寄っており、まちなかとの回遊性には一定の効果があった。

⇒来年度以降は、クルーズ寄港時に船内見学会を開催するなど、クルーズ船と市民との距離を近づけることで、旅客ターミナル「うみとびら」の認知度アップに繋げていきたい。

